

2019 年度

授業概要

科目名	臨床心理学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
言語聴覚療法の対象である知覚・認知・学習・言語などの障害を援助していくには、臨床心理学の知識が必須となる。本講義では、言語聴覚士にとって必要かつ基本的な臨床心理学および異常心理学を紹介していく。また対人援助に携わる専門家としての心構えやスキルなどを臨床心理学の技法を通して伝えていく。								
〔授業全体の内容の概要〕								
言語聴覚士として必要かつ基本的な臨床心理学の知識および技法を、言語聴覚士国家試験出題基準に沿って紹介していく。実践で役に立つ臨床心理学と、国家試験で役に立つ臨床心理学の両立を目指すため、座学のみならず演習やワークによる身体レベルでの体験学習も随時実施していく。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①言語聴覚士に求められる臨床心理学の基本的知識の習得 ②言語聴覚士国家試験の臨床心理学分野の正答率向上につなげるための基礎力の習得 ③対人援助職者に求められる倫理観、心構え、ソーシャルスキルの習得								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	臨床心理学とは							
3	パーソナリティ①							
4	パーソナリティ②							
5	学習・認知心理学とのコラボレーション企画(予定)							
6	発達上の異常心理学①							
7	発達上の異常心理学②							
8	発達上の異常心理学③							
9	発達上の異常心理学④							
10	体験ワーク							
11	精神障害①							
12	精神障害②							
13	精神障害③							
14	精神障害④							
15	精神障害⑤							
16	心理療法①							
17	心理療法②							
18	心理療法③							
19	心理療法④							
20	体験ワーク 援助職者のソーシャルスキルトレーニング							
21	心理療法⑤							
22	心理療法⑥							
23	心理アセスメント①							
24	心理アセスメント②							
25	心理アセスメント③							
26	心理アセスメント④							
27	体験ワーク 心理検査							
28	援助者のための基礎訓練①							
29	援助者のための基礎訓練②							
30	まとめ、定期試験対策							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
よくわかる臨床心理学(改訂新版)						ミネルヴァ書房		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
試験、100点満点で評価する。								